

KG 社会学批評 第3号

KG Sociological Review vol.3

関西学院大学 先端社会研究所 関西学院大学大学院 社会学研究科
『KG 社会学批評』編集委員会

2014年3月

—— 目次 ——

〈 1. 書評論文 〉

1-1. 労働と自己の管理・調整

—— 「自己」によって不可視化されるもの ——

牧野智和『自己啓発の時代 — 「自己」の文化社会学的探究』（勁草書房、2012）

木村 綾花 …… 1

1-2. 差別における非対称性の計量研究に向けて

佐藤裕『差別論 —— 偏見理論批判』（明石書店、2005）

中島 沙紀 …… 13

1-3. 負の出来事と克服

山本昭宏『核エネルギー言説の戦後史 1945-1960

—— 「被爆の記憶」と「原子力の夢」』（人文書院、2012）

濱田 武士 …… 23

1-4. ベトナム難民の定住化を捉える視座としての「地域構造」

—— 社会福祉学と社会学のブリッジに向けた考察 ——

荻野剛史『ベトナム難民の「定住化」のプロセス

—— 「ベトナム難民」と「重要な他者」とのかかわりに焦点化して』（明石書店、2013）

白波瀬 達也 …… 35

〈 2. 特集 行く・読む／会う・話す 〉

2-1. 見守られるヒーロー —— 宮城ヒーローサミット2013のフィールドワークから ——	位飼 秀介 …… 47
2-2. 現代における新宗教のゆくえ —— 祭りと世界観の継承にむけて ——	佐上 七重 …… 51
2-3. 揺れる大地、揺らぐ社会 —— 誰のための防災なのか ——	奥田 絵 …… 55
2-4. 生きるための「ひきこもり支援」 —— とある支援機関の記録 ——	伊藤 康貴 …… 59
2-5. 「生きづらさ」が可視化されるとき	坂元 美咲 …… 61
2-6. 会う・話す —— 『介助現場の社会学』をめぐる対話 ——	前田 拓也・伊藤 康貴・飯塚 諒 …… 65
<hr/>	
記録 — 関西学院大学社会学研究科ポスト大学院GP 大学院生・研究員による研究活動 (2013年4月～2014年3月)	…… 87
『KG社会学批評』— KG Sociological Reviewへの投稿について	…… 90
執筆者紹介	…… 91
編集後記	…… 94